



自分が世界と出会う場所

早来地区 義務教育学校設置 について

令和5年4月 義務教育学校スタート

平成30年9月の北海道胆振東部地震により被災した早来中学校の再建工事が7月から開始しました。

令和4（2022）年10月頃に校舎が完成し、引越し作業などを経て、翌1月から早来中学校と早来小学校が使用を開始し、4月に義務教育学校として開校されます。

安平町が目指す 義務教育学校の姿

早来中学校の校舎や体育館、敷地内の地盤などに大きな被害を受けました。

仮設校舎となつている早来中学校を今後どのように開設するか検討した結果、早来小学校に隣接する土地を取得し、そこに老朽化する早来小学校との一体的な校舎を新築することとなりました。

加えて、様々なメリット・デメリットを検討したうえで、早来小学校と早来中学校を同じ校舎内で別々にするのではなく、9年間の義務教育を一貫して行う「義務教育学校」という一つの学校にする形を選択しました。

コンセプト 『自分が世界と 出会う場所』

3ページの上で紹介している図は、新しい学校をどのような学校にするかということ表現した言葉です。住民の皆さんとイチから考え出されたものです。

「自分」とは、子どもだけを指すものではありません。また、「世界」とは、海外のみを指すものではありません。子どもも保護者も地域の方々も、皆さんの出会いが広がり、つながる。子どもを中心に捉えつつ、高齢者の方々を含めた大人も豊かな学べる場所をつくりたい。そんな願いが込められています。